

三好池

(みよしいけ)



全景



カヌー大会の様子

ため池の概要

ため池の所在地

愛知県みよし市(旧西加茂郡三好町)

ため池の特徴

三好池は、昭和34年に愛知用水事業により造られた農業用ため池で、211haの農地に用水を配り、水稻の他、特産の梨、柿、ぶどうの生産を支えています。

池は掌のような形をしており、入り江には湿地の植物が繁り鳥のさえずりが響き、また岬部分では180度見渡すことができ、変化に富んだ景観が楽しめます。

春の桜(約2000本)、初夏の紫陽花、秋の紅葉などの名所となっており、「美しい愛知づくり景観資源600選」に選定されています。

堤体などを除き、築造時のままの土の岸辺や雑木林が残されており、マガモ、カイツブリ、ジョウビタキ等の渡り鳥を始めとする多様な生物を育んでいます。

池の周囲には「健康の道」があり多くの人々が散歩などで利用しており、また三好池まつりやカヌー大会、駅伝大会等も開催され、地域とのつながりが大切にされています。

関連情報

三好町ホームページ

<http://www.town.aichi-miyoshi.lg.jp/>